

第Ⅱ章 「全体計画の中間取りまとめ（第2回）」策定支援

第Ⅱ章 「全体計画の中間取りまとめ（第2回）」策定支援

「全体計画の中間取りまとめ（第2回）」策定までの流れ及び更新内容について整理した。

1. 「全体計画の中間取りまとめ（第2回）」策定までの流れ

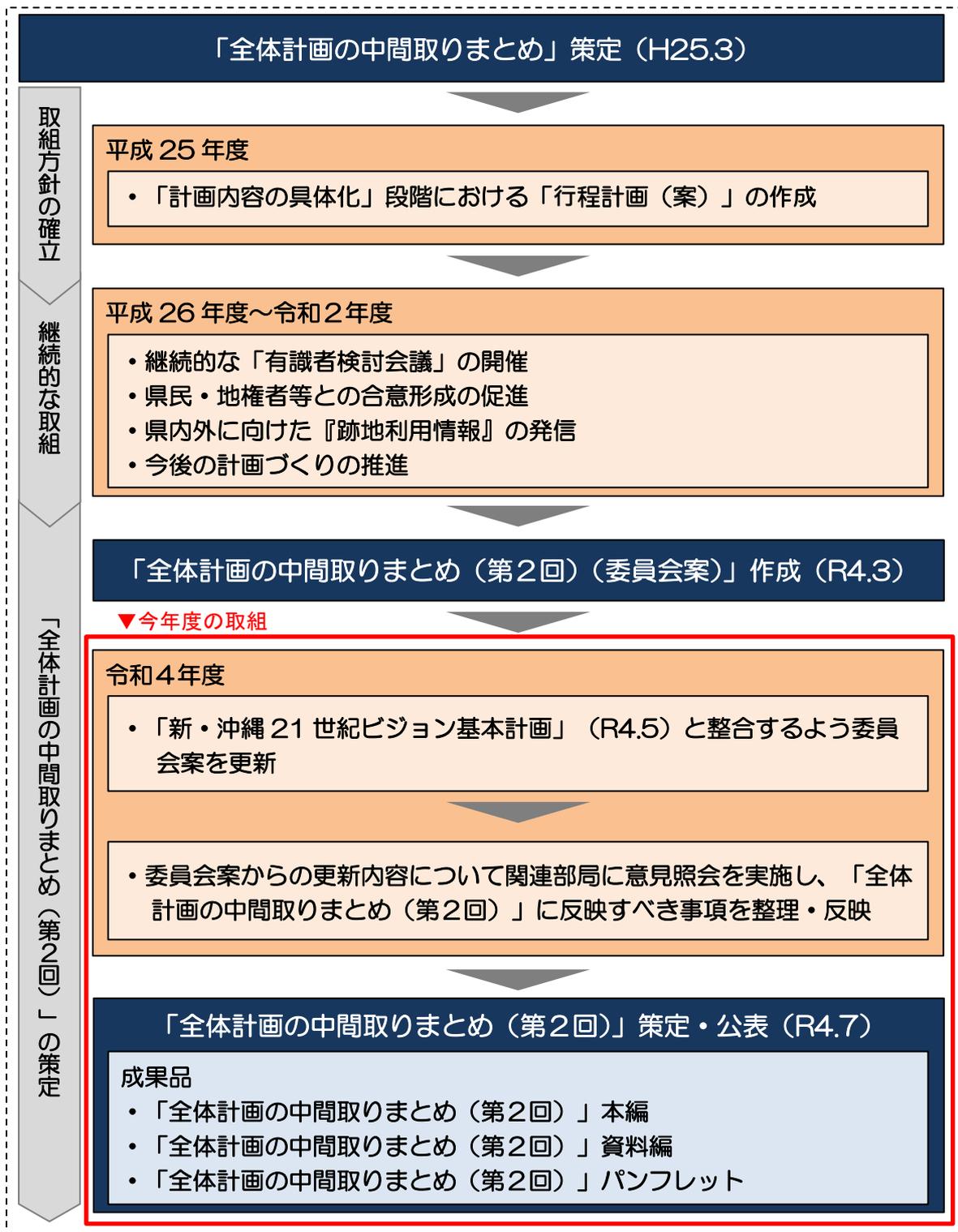
平成8年の「『沖縄に関する特別行動委員会』（SACO）の最終報告」において普天間飛行場の全面返還が合意されて以降、沖縄県・宜野湾市共同で普天間飛行場跡地利用に向けた取組を進めてきた。

平成18年2月に「普天間飛行場跡地利用基本方針」、平成19年5月に「普天間飛行場跡地利用計画の策定に向けた行動計画」を策定し、これらにもとづく取組を進め、平成25年3月に普天間飛行場跡地利用計画策定に向けた中間的な成果である「全体計画の中間取りまとめ」を策定した。

以降は平成25年度に作成された「計画内容の具体化」段階における「行程計画（案）」にもとづき、「県民・地権者等との合意形成の促進」、「県内外に向けた『跡地利用情報』の発信」、「今後の計画づくりの推進」に取り組んできた。

令和3年度においては、「全体計画の中間取りまとめ」策定以降の計画条件の変更や文献等による現況の詳細把握、有識者からの示唆、県民市民の意見、社会状況の変化等を踏まえ、令和4年3月に「全体計画の中間取りまとめ（第2回）（委員会案）」を作成した。

今年度においては、「全体計画の中間取りまとめ（第2回）（委員会案）」をもとに、令和4年5月に公表された「新・沖縄21世紀ビジョン基本計画」との整合を図り更新し、更新内容について沖縄県及び宜野湾市の関係部局に意見照会を行い、令和4年7月に沖縄県及び宜野湾市が「全体計画の中間取りまとめ（第2回）」を策定した。



図Ⅱ-1 「全体計画の中間取りまとめ（第2回）」策定までの流れ

2. 「全体計画の中間取りまとめ（第2回）」の策定

「全体計画の中間取りまとめ（第2回）」の策定にあたり、「新・沖縄21世紀ビジョン基本計画」との整合や、沖縄県及び宜野湾市への意見照会について整理した。

（1）「新・沖縄21世紀ビジョン基本計画」等との整合

昨年度の「全体計画の中間取りまとめ（第2回）（委員会案）」は「新たな振興計画（素案）に対する答申」と整合を図ったものであったが、今年度においては「全体計画の中間取りまとめ（第2回）」の策定にあたり、令和4年5月に策定された「新・沖縄21世紀ビジョン基本計画」との整合を図るため、「新たな振興計画（素案）に対する答申」から「新・沖縄21世紀ビジョン基本計画」への更新事項を整理した。

また、「全体計画の中間取りまとめ（第2回）（委員会案）」策定以降の普天間飛行場跡地利用に関する上位・関連計画の状況について整理し、「新・沖縄21世紀ビジョン基本計画」以外の上位・関連計画については策定、改定等が無いことを確認した。

1) 「新・沖縄21世紀ビジョン基本計画」の駐留軍用地に関する主な更新事項

① 語句の変更等

- ・「ウィズコロナ・ポストコロナ」を「ウィズ／ポストコロナ」に変更。
- ・「優遇措置」を「特例措置」に変更。
- ・「大規模公園」の記載を「平和希求のシンボル及び防災拠点機能を備える国営大規模公園」に統一。

② その他

- ・「新たな振興計画（素案）に対する答申」の「第6章2（1）中南部都市圏の形成と駐留軍用地跡地の有効利用」で1つの項目に収まっていた文章を“県全体の持続可能な発展を牽引する中南部都市圏の形成”と“駐留軍用地跡地の有効利用による県土構造の再編”に分けて記載。

（2）庁内関連部局への意見照会

「新・沖縄21世紀ビジョン基本計画」を踏まえ、「全体計画の中間取りまとめ（第2回）（委員会案）」から「全体計画の中間取りまとめ（第2回）」への更新事項について、沖縄県及び宜野湾市の関連部局へ意見照会を行った。

なお、昨年度の「全体計画の中間取りまとめ（第2回）（委員会案）」作成時にも沖縄県及び宜野湾市関連部局へ内容の確認と意見照会を行っており、また更新も軽微な内容であったため、沖縄県及び宜野湾市の関連部局から意見は無かった。

（3）「全体計画の中間取りまとめ（第2回）」の主な更新内容

先述の更新事項を踏まえ、「全体計画の中間取りまとめ（第2回）（委員会案）」をもとに、下記の内容について更新を行った。

なお、「全体計画の中間取りまとめ（第2回）」の本編を本報告書巻末に掲載する。

- ・「新たな振興計画（素案）に対する答申」の記載を「新・沖縄21世紀ビジョン基本計画」に更新。
- ・「ウィズコロナ・ポストコロナ」を「ウィズ／ポストコロナ」に修正。
- ・「優遇措置」を「特例措置」に修正。
- ・「終わりに - 第2回中間取りまとめからの挑戦 -」を参考資料-1の「普天間飛行場跡地利用計画中間取りまとめ（第2回）検討委員会」に移動。
- ・「新・沖縄21世紀ビジョン基本計画」で「大規模公園」を「平和希求のシンボル及び防災拠点機能を備える国営大規模公園」に統一しているが、大規模公園の“平和希求”や“防災拠点”については記載済みのため修正なし。
- ・「第6章2（1）中南部都市圏の形成と駐留軍用地跡地の有効利用」にて、1つの項目に収まっていた文章を“県全体の持続可能な発展を牽引する中南部都市圏の形成”と“駐留軍用地跡地の有効利用による県土構造の再編”の2つの項目に分けられたが、記載内容に変更は無いため修正なし。

(4) 「全体計画の中間取りまとめ」からの主な更新内容

平成25年3月に策定された「全体計画の中間取りまとめ」から「全体計画の中間取りまとめ（第2回）」の主な更新内容について、以下の通り整理した。

表Ⅱ-1 「全体計画の中間取りまとめ」からの主な更新内容

Ⅱ 跡地の将来像	
	<ul style="list-style-type: none"> ・時間が経過しても変わらない大きな方向として「Ⅱ 跡地の将来像」を新たに構成。 ・今後の計画内容の具体化に取り組む上で基底となる将来像（世界に誇れる優れた環境の創造）を明確化し、時間が経過しても変わらない視点を「揺るぎないまちづくりの方向性」として明示。
Ⅲ 計画づくりの方針	
Ⅲ-1 環境づくりの方針	
	<ul style="list-style-type: none"> ・跡地の将来像である「みどりの中のまちづくり」の中核を成す区域を大規模公園エリアとし、新たな価値観の下での大規模公園と都市的土地利用が融合するまちの創造への挑戦を推進することを位置づけ。
Ⅲ-2 土地利用及び機能導入の方針	
	<ul style="list-style-type: none"> ・大規模公園エリアの中核として、沖縄振興の推進や多角的な価値創造の象徴となる「沖縄振興コア」を形成することを位置づけ。
Ⅳ 空間構成の方針	
	<ul style="list-style-type: none"> ・活用すべき自然・歴史特性（歴史・緑・地形・水）の確保を最優先に配置するとして計画条件を更新。 ・上記の計画条件の更新を「配置方針・配置方針図」に反映。 ・鉄軌道は中部縦貫道路との一体型を想定し、導出部については国道58号への合流を想定したルートに更新。
Ⅴ 今後の取組内容と手順	
	<ul style="list-style-type: none"> ・「全体計画の中間取りまとめ（第2回）」以降の「計画内容の具体化」段階の取組方針として「跡地整備の実現に向けたしくみづくり」を追加し、主要な取組の内容や手順を明示。

